



報 会 窓 同 工 會

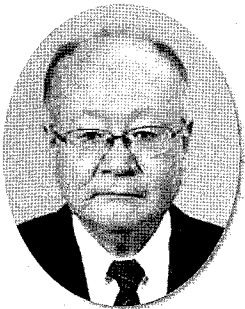
2024

福島県立会津工業高等学校

校 歌

作詞 吉田智 山村彌久馬
作曲 新潟師範学校

峯は秀づる磐梯山
水はた、ふる猪苗代
これぞ乾坤秀麗の
精氣あつまりなる處
明治三十七春中ば
礎かたく築かれて
星霜こゝに幾かへり
平和の覇者を育みぬ
身には白虎の粹をうけ
鶴と章に雄々しくも
至誠勤勞一筋に
進む健兒の意氣高し
屹つ峯は嶮しくも
寄せ来る波は高くとも
これ闘の活舞臺
これぞ我等の天地なる



『同窓会報発刊にあたって』

同窓会 会長 荒井 誠一
(昭49年建築科卒)

同窓会会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

去る10月19日(土)に令和6年度同窓会総会が無事終了致しました。ご参加頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

今年は元日から能登半島地方を中心とした巨大地震が発生し多くの方々が被災されました。さらに、全国各地で記録的な豪雨による河川の氾濫や土砂崩れによる多大な被害が発生しました。被災されました皆様方にお見舞いを申し上げます。一方、パリオリンピックでの日本人選手の活躍は素晴らしいものがあり、私たちに勇気を与えてくれました。

私が会長に選任されてから早いもので1年が過ぎました。会長に選任される前は筆頭副会長として三役会議等に出席し、各地域支部に若い会員が少ない等の話は伺っておりましたので、会長に選任された挨拶で、活動の基となる適正な同窓会名簿を作成することに努めることを述べさせて頂きました。そしてこの1年間、いわき工会や東京會工会等の地域支部総会、機友会やセラ友会の修養会総会に出席させて頂き、名簿作成のためのご協力のおかげしながら、各組織の実情を役員の方々から総会への参加者の減少や財政の大変さをお聞きし、各々が抱えている課題は想像を超えた厳しいものであることを改めて認識し実感しました。同時にこれらの課題は同窓会本部が置かれている状況と同じであることも認識致しました。

また、新たな出会いもありました。セラ友会総会後の懇親会に出席した際、40代後半の方々にお会いすることができたのです。彼らは今年4月に赴任された同窓生でもある佐藤校長が過去に担任を受け持つ

た時の生徒の方々に、校長が総会への参加を呼び掛けられ、それに促して参加されたのです。佐藤校長から事前に担任時の生徒に参加の声を掛けていたとの話を聞いていましたが、実際にお会いしてお話を伺い感慨も一入でした。こうした若い方々に声を掛けて下さった佐藤校長に感謝すると共にそれに応えて参加して下さい下さった方々にも感謝すると共に来年以降も参加して頂くことを期待しております。

同窓生各位や同窓生でもある先生方からのこうした声掛けも活性化の一助になると実感しました。この間、私も身近にいる同窓生に声を掛けてお願いをしています。この間、私も身近にいる同窓生に声を掛けて、現住所を明らかにする同意は思うように進んでいません。しかし、現住所がはっきりしている方々には活動協力金納付への協力をお願いしております。

何故住所等について断られるのかを考えたとき、同窓会が同窓生の方々に必要とされる組織として認識されていないのではないか思われます。

その解決のためには、興味を持てる同窓会、そして必要とされる同窓会でなければならぬと考え、これらの実現の方策を検討して行きたいと考えています。

もちろん、今後とも適正な同窓会名簿を作成のため各組織への協力依頼を行って参ります。

改めて、同窓生皆様の同窓会へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、同窓生皆様の益々のご隆盛とご健勝、ご多幸を祈念致しまして挨拶と致します。

第117回同窓会総会



第117回(2024)総会は、令和6年10月19日(土)ホテル「いづみや」にて開催されました。当日は3年に1度の学校文化祭(会工祭)が開催中で、教職員(同窓生)の出席は無かったにもかかわらず55名の会員の皆様に出席を頂きました。

総会開会に先立ち今年度の物故者に黙とうを捧げ、白井達夫筆頭副会長によるの開会のことば、校歌斉唱、荒井誠一同窓会会長あいさつとつづき総会議長に渡部優生(S55M卒)氏を選出し議題に入りました。全議題、反対意見もなく可決承認いたしました。

前 同窓会会長 浅田誠様(S43E卒)に感謝状贈呈を行い、田中健一東京会工会会長の閉会のことばで総会を終了。写真撮影の後、懇親会と進みました。荒井会長あいさつにつづき佐藤正道校長、石田史典PTA会長よりお祝い

の言葉を頂戴し、藤田晴史同窓会顧問の乾杯発声で祝宴に入りました。
三井正春東海会工会会長の万歳三唱で、盛会の中に終了しました。 幹事長 木村洋一(S50K卒)
※総会議事録閲覧希望者は、幹事長 木村までご連絡下さい。090-5356-6785

令和6年度事業報告 (令和5年10月1日～令和6年9月30日)

会員相互の親睦を図り、母校と会発展のため以下の事業を実施した。

月 日	事 業	場 所	備 考
10/ 6(金)	会計監査	鶴翔会館	
10/10(火)	第3回本部役員会	鶴翔会館	
10/20(金)	「会工電友会」総会	ホテル「いづみや」	
10/21(土)	「若松会工会」総会	ホテル「いづみや」	
10/21(土)	第116回同窓会総会・懇親会	ホテル「いづみや」	
11/ 1(水)	「2023會工同窓会報」発行		10,000部
11/11(土)	第10回「いわき会工会」総会 設立10周年記念総会	いわき市グランパークホテル	若狭顧問、会長、幹事長、教頭
11/16(木)	「猪苗代会工会」総会	梨の木	会長、幹事長、校長
2/ 2(金)	第1回本部役員会	鶴翔会館食堂	
2/ 2(金)	新年会	萬里	
2/29(木)	同窓会入会式・表彰式	学校南体育館	顧問、三役、監事、修養会会長
3/ 1(金)	会工「卒業式」	学校南体育館	顧問、三役、修養会会長
3/15(金)	会工職員クラブ「送別会」	ホテル「いづみや」	会長、幹事長
4/ 5(金)	会工職員クラブ「歓迎会」	ルネッサンス中の島	会長、幹事長
4/ 8(月)	会工「入学式」	学校南体育館	顧問、三役
4/12(金)	学校創立記念講話	学校南体育館	本部役員
5/17(金)	「坂下会工会」総会	坂下給食センター	会長、幹事長、校長
5/18(土)	松江豊寿、春次合同顕彰会法要	会津若松市 高巖寺	松江春次顕彰会会長
6/13(木)	遠藤昭二氏との懇談	ISホールディングス社長室	会長、東京会工会会長
6/15(土)	「東京会工会」総会	上野「精養軒」	会長、幹事長、校長
6/16(日)	「東海会工会」総会	名古屋「味波」押切店	会長、幹事長、校長
6/28(金)	「建友会」総会	御宿「東鳳」	筆頭副会長、教頭
6/29(土)	「近畿会工会」総会	大阪 日本料理「八幸」	会長、幹事長、校長
7/6(土)	「機友会」総会	割烹「水林」	会長、校長
7/13(土)	「セラ友会」総会	ホテル「いづみや」	会長、校長
9/9(月)・10(火)	3年生を対象に企業面接練習	鶴翔会館食堂	三役
9/18(水)	第2回本部役員会・懇親会	鶴翔会館・亀井寿司	

*郡山会工会、福島会工会、会津美里会工会の総会は中止。

*表記のほか、三役会議8回開催。

令和7年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出予算書

(自 令和6年10月1日～至 令和7年9月30日)

収入総額 5,700,000円
支出総額 5,700,000円
差引残額 0円

◎収入の部 (単位：円)

費 目	予 算 額 (A)	前年度予算額(B)	(A)－(B) 増減	摘 要
繰 越 金	844,073	1,898,345	－1,054,272	前年度繰越金
入 会 金	2,000,000	2,000,000	0	新入生(200名×10,000円)
協 力 金	2,000,000	2,000,000	0	会員より(1口3,000円)
総 会 費	500,000	500,000	0	会費等の収入
雑 収 入	355,927	1,655	354,272	会報広告、決算利息等
合 計	5,700,000	6,400,000	－700,000	

◎支出の部 (単位：円)

費 目	予 算 額 (A)	前年度予算額(B)	(A)－(B) 増減	摘 要
総 会 費	600,000	500,000	100,000	要項、ポスター、立て看板、懇親会、写真
会 議 費	500,000	750,000	－250,000	各支部総会時のご祝儀、役員会補助
旅 費	750,000	550,000	200,000	各支部総会時の旅費
事 業 費	550,000	700,000	－150,000	新聞広告代、各支部への助成
協力金諸経費	1,300,000	1,300,000	0	サラトへの支払い等(会報発送料含む)
卒業記念費	200,000	180,000	20,000	CD代(校歌等)、賞状、額縁
体育文化振興会助成	200,000	200,000	0	R6、R7年度分
慶 弔 費	30,000	30,000	0	香典等
消耗品費	50,000	50,000	0	事務用品、他
印刷費	450,000	150,000	300,000	会報印刷代(6,000部)
通信費	200,000	250,000	－50,000	郵送代、電話代
事務費	260,000	100,000	160,000	パソコンリース代、コピーカウンター代他
基金・積立	0	250,000	－250,000	定期預金
予 備 費	610,000	1,390,000	－780,000	
合 計	5,700,000	6,400,000	－700,000	

付帯決議 費目間の流用については、会長に一任する。

各支部への助成

・東京－10万 ・近畿－5万 ・東海－5万 ・若松－5万 ・福島－3万
・郡山－3万 ・猪苗代－3万 ・坂下－3万 ・いわき－3万 ・湯川－3万
・会津美里－3万 ・建友会－2万 ・会工電友会－2万 ・機友会－2万 ・セラ友会－2万

令和6年度 福島県立会津工業高等学校同窓会収入支出決算書

(自 令和5年10月1日～至 令和6年9月30日)

収入総額 5,736,447円
支出総額 4,892,374円
差引残額 844,073円 次年度へ繰り越し

◎収入の部 (単位：円)

費 目	予算額(A)	決算額(B)	(B)－(A) 増減	摘 要
繰 越 金	1,898,345	1,898,345	0	前年度繰越金
入 会 金	2,000,000	2,040,000	40,000	令和5年度4名+令和6年度200名
協 力 金	2,000,000	1,282,000	－718,000	活動協力金
総 会 費	500,000	386,000	－114,000	参加42名、ご祝儀 ¥10,000×4+ ¥5,000×2
雑 収 入	1,655	130,102	128,447	利息、湯呑み販売
合 計	6,400,000	5,736,447	－663,553	

◎支出の部 (単位：円)

費 目	予算額(A)	決算額(B)	(B)－(A) 増減	摘 要
総 会 費	500,000	583,800	83,800	要項印刷、立て看板、懇親会、写真
会 議 費	750,000	448,791	－301,209	各支部総会時のご祝儀、役員会補助
旅 費	550,000	785,250	235,250	各支部総会時の旅費
事 業 費	700,000	419,500	－280,500	広告代、各支部への助成
協力金諸経費	1,300,000	1,282,000	－18,000	サラトへの支払い等(会報発送料含む)
卒業記念費	180,000	193,050	13,050	CD代(校歌等)、賞状、額縁
体育文化振興会助成	200,000	100,000	－100,000	R5年度分支出
慶 弔 費	30,000	20,000	－10,000	香典、他
消耗品費	50,000	48,045	－1,955	事務用品、他
印刷費	150,000	407,500	257,500	会報印刷代(10,000部)、総会ポスター代
通信費	250,000	153,688	－96,312	郵送代、電話代
事務費	100,000	259,053	159,053	パソコンリース代、コピーカウンター代他
基金・積立	250,000	0	－250,000	
予 備 費	1,390,000	191,697	－1,198,303	入会金返金、会工祭助成等
合 計	6,400,000	4,892,374	－1,507,626	

会工同窓会 積立金					令和6年9月30日現在
積立入金日	金額(円)				
①H27.09.28	¥100,066	会津信用金庫・本店	定期	口座番号 No. 1352340	
②H30.07.24	¥100,026	会津信用金庫・本店	定期	口座番号 No. 1387072	
③R02.10.02	¥500,036	会津信用金庫・本店	定期	口座番号 No. 1410283	
④R05.12.07	¥10,115,042	東邦銀行・会津支店	定期	口座番号 No.40 209,511-001	
①+②+③+④=					10,815,170 円

会工同窓会会計・積立金
監査報告について
令和 6 年 10 月 4 日収入調書・現金出納簿・預金通帳および
支出調書等関係書類を調査照合の結果、適正に執行されている事を認めました
ので報告いたします。

令和6年10月19日
監事 小山源昭
監事 近藤信行
監事 栗城和夫

福島県立会津工業高等学校同窓会 会長 荒井誠一 殿

感謝状贈呈



前會工同窓会長 浅田 誠様 (S43E)

総会議事

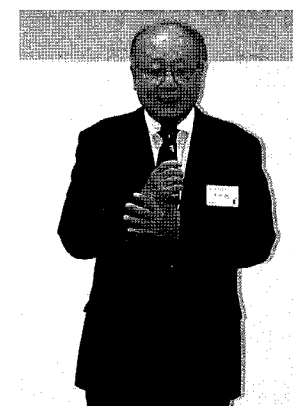


第117回(2024)総会



質疑

懇親会



荒井誠一会長挨拶



佐藤正道校長挨拶



会工マインド

校長 佐藤 正道

同窓会の皆様には、日頃より物心両面にわたり多大な御支援と御指導を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度は、新生徒200名を迎え全校生徒586名(男子473名、女子113名)、全教職員81名で教育活動をスタートしました。学校全体に活気が戻り「文武両道」「至誠勤労」の下、ものづくりを通じたひとづくり(全人教育)に邁進しています。

私は今年4月に二本松実業高校より着任しました。本校の卒業生(化学工学科59年卒)であり、新採用後20年間教諭として母校に勤務しました(本郷分校を含む)。OB校長として3人目になります。日々母校愛と情熱をもって、学校教育目標の達成に向け、学校経営に取り組んでいます。

着任後は、坂下會工会を皮切りに、県内外や各学科の同窓会に出席させていただきました。校歌熱唱とともに母校への熱い思いや期待、そして励ましなど毎回肌で感じています。中でも強く印象に残っているのは、昭和39年卒の県外の方が、実習テキスト、実習ノート、卒業実験記録集などをお持ちになって会津にお越しになり、当時の授業の様子やエピソードを語ってくださいましたことです。光景が鮮やかに蘇り、心の若さは生きる力となり、会工青

春は今も続いているのだと思いました。もちろん私です。また、経営者や技術者の視点からも会工教育へ助言を多数いただいています。皆様の声を学校経営に生かすことが母校の進化・発展に繋がるものと考えています。皆様の忌憚のない御意見をお寄せください。

さて、ものづくりには思いやりと優しさが必要であり、技術・技能は生活をよりよくし、個人と社会の幸せのために使うのだと、生徒に伝えています。こうした「会工マインド」を醸成するとともに協働的・実践的・探究的な学びを通して、自己有感を育み、自信と誇りを持たせたいと考えています。未来社会の創り手になってもらいたいと思います。

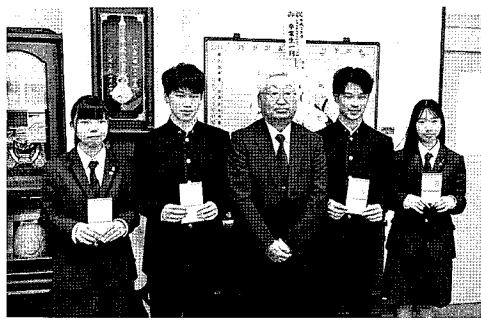
今年度は、3年に一度の公開文化祭「会工祭」が盛大に行われました。生徒作品やプレゼンなどから「会工マインド」を少しでも感じ取っていただけたのなら幸いです。

結びに、地域から信頼され愛される学校づくりに努めていきますので、今後とも更なる御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

会津美里会工会

会長 野中 寿勝
(昭50E卒)

会津美里会工会では、事業の柱の一つとして、平成23年度(2011)より会津美里町内各中学校から本校に入学した新入生に対し、同窓会会津美里支部として入学をお祝いするとともに、勉学や部活動に励み、高校生活が将来に向けて有意義なものとなるよう期待しながら、地元の後輩である生徒たちを激励するため、記念品の贈呈を行っています。



「激励品贈呈」時写真(令和6年5月7日)

入学生全員に出席してもらうこともありました。今回は、場所を校長室としたこともあり、佐藤正道校長先生にご臨席いただき、代表生徒による贈呈式となりました。

顧みれば、記念品贈呈を開始してから、今年度を含め260名を超える生徒(後輩)にエールを送ってきました。生徒たちには、将来の夢に向かい、母校での学びを生かし工業人としてだけでなく、自らの進路実現に向け「常に探求心を持って」物事に取り組んでいってほしいと思います。また、卒業後は、それぞれの地で活躍することにも、後輩にエールを送る側として、同窓会活動に参加していただくことも大いに期待しているところであり、引き続き新入生の激励を続けていきたいと考えております。

もう一つの事業の柱でもある、町内の伝統文化行事に合わせた「会員交流事業」につきましては、コロナ禍以降は実施に至っておらず、現状として役員会等の開催も出ていない状況があり、会長として深くお詫び申し上げます。

今後は、「会員交流事業」の

至誠勤労

見直しや、組織強化を模索しながら検討を進め、事業の充実と会員の拡大に取り組んでまいりたいと考えております。

つきましては、会員の皆様をはじめ、多くの地元同窓生の皆様には、会津美里会工会の今後の発展のため、引き続きのご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

いわき会工会 10周年記念式典開催

会長 梅宮 昭
(昭39A卒)

同窓会の皆様方におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年度も全国各地で地震、天候不順、台風等による自然災害事故が多く発生し、多くの被害に遭われた方々に心痛めており、早急な復興を念じておりますと共に心よりお見舞い申し上げます。幸い私共いわき会工会会員の中には被害に遭われた方が一人も無く安心しているところで

本会は今年度、創立10年目に

会工電友会 会工電友会定例総会

会長 白井 達夫
(昭43E卒)

◆定例総会

第30回定例総会は、同窓会本部総会と同日の令和6年(2024年)10月19日(土)、会津若松市の「ホテルいずみや」において開催しました。

会工電友会の歴史について平成27年版「電友会だより」の故山口健さん(昭和29年E卒)の記述によると、平成7年(1995年)9月、電気科創立50周年記念式典が170名ほどの参加で東山温泉・東鳳にて実施されましたが、それに先立ち同年の6月に電友会設立総会が開催されたとの事です。

今回の総会は第30回という節目の総会ですが、コロナ禍での活動の自粛と停滞などから残念ながら慎ましいものとなりました。また、効率的な開催を検討した結果、過去は本部総会の前日に開催していましたが、今回は電友会総会↓本部総会・懇親会への誘導の思いから同日の開催となりました。

総会は、会員16名参加の下、物故者に対する黙祷と校歌斉唱の後、会長挨拶で開会。野中寿

REPORT&MESSAGE

勝さん(昭和50年卒・会津美里町)を議長に選出し、令和6年度(期間・令和5年10月1日～令和6年9月30日)の活動経過報告、会計・会計監査報告。さらに令和6年度事業計画(案)・予算(案)の各議案が満場一致で承認可決されました。

今年度も、明年3月に恒例の「電友会だより」を発行し会員(現在85名)の皆様にお届けしますが、併せて、会員拡大策や会の現状に相応しい活動などに関するご意見をお伺いし、今後の会運営に活かしていく予定です。

議事終了後には、電気情報科主任の真田郁夫先生から寄せられた「電気情報科」の進路状況



機友会 機友会総会

会長 荒川 富士雄
(昭43M卒)

今年の総会も荒井会長始め多くの来賓の方々のご臨席を賜り無事終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

機友会の設立当時(平成11年)の会員名簿を見てみました。27名が登録しており、そのうち現在、住所と生存が確認できるの

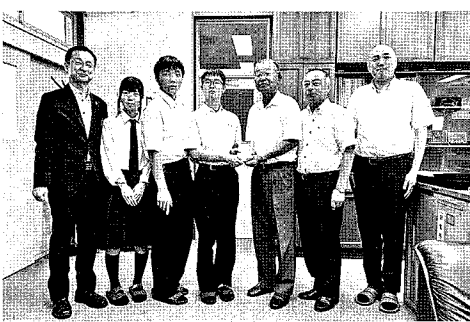
や母校の近況報告を披露し、母校の繁栄と後輩の活躍に全員の大きな拍手でエールを送りました。

◆電気情報科一期卒業生への記念品贈呈

令和6年2月29日(木)「同窓会入会式」の後、電気情報科3年教室において、卒業をお祝いし、記念品(卓上電波時計)の贈呈と会報「電友会だより」を提供しました。また、会報に「三年間の振り返り」を寄稿いただきました武藤圭祐さんに御礼の品を差し上げ、贈呈式を終りました。

は10名程でした。寂しいものです。設立から関わっているのは、栗城顧問と私の二人だけになってしまいました。同窓会本会も同様ですが、何といっても実働会員を増やさなければなりません！分かってはいることです(毎年感じる課題！)同窓生会員の皆様の支援が必要です。どうかよろしく願いたいと思います。先輩、同級生、後輩に会いに来てください。

事業のうち、研修会(本会や若松会工会と一緒に進めていたのですが)はコロナ禍で休止してから再開していません。また、機友会として在校生が少しでも活動の場を増やしていければと



激励金贈呈

セラ友会 セラ友会設立25周年

会長 梨子本 傑
(昭41K卒)

令和6年7月13日、定期総会を会津若松市のホテルいづみやで開き、設立25周年の記念を祝いました。54人が出席し、校歌斉唱、会長挨拶後、本部同窓会・在校生の支援、会報発行、会員の発表会の開催など、事業計画を決めました。役員改選が行われ梨子本会長再任、副会長3名

の思いから、わずかではあります活動補助金を提供してまいりました。これは今後も継続していきたいと思っておりますので、ぜひ同窓生各位のご支援をお願いいたします。

在校生の機械研修部は休みを返上して頑張っています。近年、中々上位に入る事が難しくなっていますが、生徒たちは自分達の力を出す為、努力し頑張っています。頑張れ！会工健男児!!その努力は将来絶対に役立つ！先輩方、応援・支援よろしくお願ひします。



が交代し、青山幹事長が筆頭副会長、後任幹事長に星清智氏を推薦し、全員一致で了承されました。

総会終了後、昨春秋・今年春の叙勲受賞者の佐藤悦朗氏、故渡部洋子氏、五十嵐幸夫氏と文部科学大臣地域文化功労者の渡辺正夫氏、法務大臣功労者の猪股薫氏、更に本会設立25周年記念事業に功績のあった坂内茂男氏・坂場恒雄氏・石井久夫氏の出席された方々に小針麻里子さん手作りの花束が贈られました。幹事長星清智氏(50K)による「第2の人生！」の演題で講演をいただき、懇親会は佐藤正

初志貫徹

一意専心

道校長、本部同窓会荒井誠一會長、3名の各修養会會長、元クラス担任の石井久夫先生・猪俣薫先生・村田光夫先生をお招きし、総勢54名で行われました。また、出席者の中には20代、30代の若い世代と90歳の渡辺正夫様も出席され盛大な会となりました。

- 会報2024・第21号設立25周年記念号あゆみ発行
- 研修会 秋のミニ研修会10月18日茨城県内 春のミニ研修会4月19日猪苗代町観音寺川ほか桜鑑賞
- 入会式 令和5年度セラミックス化学科卒業生38名
- 役員会 2月14日設立25周年記念事業について
- 本会への寄附 窯友会・昭和32年卒のクラス会（坂内茂男名誉顧問・佐々木賢顧問）より

会工同窓会 東長原支部

支部長 大塚裕一郎（平33卒）
同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
会工同窓会東長原支部は、株

式会社レゾナック東長原事業所の敷地内に立地する5つの企業で働く、会津工業高校卒業生で組織しています。
活動は会員相互の親睦を図るため、毎年春に総会および懇親会、秋に芋煮会を開催しています。

新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して2019年より総会の開催はできていませんでしたが、今年は5年ぶりに開催することができました。

久しぶりの開催で企業間を超えて交流ができるか不安もありましたが、無事に終えることができました、開催して良かったと感じています。

令和6年は年初から能登半島地震、羽田空港における航空機火災と痛ましい災害・事故からスタートし、その後も台風や線状降水帯による過去に例を見ない降水量や南海トラフにおける大規模地震への懸念など全国どこで何が起るかわからない状況です。

しかし、一人ひとりがお互いに関心を持ち、思いやりの心を持って行動すれば越えられないことはないと思っています。各支部の皆さん、共に頑張りまし

よう。
※昭和電工株式会社は、令和5年1月1日に昭和電工マテリアルズ株式会社と統合し、株式会社レゾナックに社名が変更となりました。

三菱製鋼(株) 会工会

会長 珊瑚 優治（昭59C卒）

同窓会の皆さまにおかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。
この会は、三菱製鋼広田製作所に働く会津工業高校の卒業生で構成されています。

年間の活動としては、お花見、暑氣払い、忘年会、総会と親睦を深める会食会を中心に活動しています。
昨年度は会工会として1泊2日で旅行に行き楽しいひと時を過ごしました。

4月に新入社員1名を迎え入れることが出来、暑氣払いと併せ歓迎会を実施しました。
今年度も昨年同様、旅行を計画しており今から楽しみにして

おります。
今年度から育児等が大変で会への参加が難しい方に対して特例を設け会への継続を図りました。色々と工夫しながら存続させています。

三菱マテリアル(株) 若松製作所鶴友会 近況報告

幹事長 角田 剛（平2M卒）

同窓会の皆さまにおかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。



鶴友会とは三菱マテリアル株式会社若松製作所に勤務する会津工業高校OB会の事を指します。近年は、定期採用者、中途採用者もありますが、パワハラ問題が世の中で取り上げられるようになり、無理な勧誘もする事はできず、会員数は52名と減少している状況です。
コロナ禍で会の活動は、4年ほど開催されない状況でしたが、今年の5月によく臨時総会を開催する事が出来ました。
総会では、今の時代に合わないくなった規約を改めるために、会員同士で意見を交わし合い、有意義な時間を過ごす事が出来ました。
その後の親睦会では、久しぶりの大人数での宴会に、皆楽しそうに和気あいあいとした雰囲気、美酒を交わし合う事が出来ました。
今後は、毎年、春と年末に実施していた親睦会や、コロナ禍前に実施していた、隔年での親睦旅行も実施したいと考えております。

REPORT & MESSAGE

OB会

会工元氣会

會長 新國 基次（旧職員）
庶務 梨子本 傑（昭41K卒）

この会は会工に在職した退職教職員で組織し、会員相互の親睦を図る目的で、9月7日、会津若松市の会津迎賓館「寿し万」で総会を25名の出席のもと開催しました。

新國基次会長のあいさつ後に議事に入り、同校の学園祭「会工祭」を見学することなど本年度の事業計画を決めました。そ



のほか会計報告・役員改選の再任も了承されました。
総会終了後、懇親会の席上で新会員・初めて参加者する3名が紹介され、来賓として学校長・佐藤正道先生のあいさつ後、会員らが近況を報告するなどして和やかな雰囲気のもと親睦を深めました。

クラス会

卒業50周年記念 同級会開催

事務局 三富 隆良（昭49K卒）

7月の第1週末に東山温泉にて昭和48年度卒業生の同級会を梨子本先生をお迎えして8年ぶりに開催しました。

同級会の開催回数が増えるたびに参加人数が減少してきていて寂しく思っていました。

今回は、全体としての同級会の開催は最後という事で集合をかけたが12名のみ出席となりました。しかし、やはり同級生です。少数でしたが皆楽しく夜遅くまで今の現状や欠席



者の情報など語り合い最後の同級会を満喫していました。
次回からは残念ですが地元中心の少人数での開催となります。

41Kクラス会 喜寿を祝うクラス会

片岡 和夫（昭41K卒）

このたび喜寿を祝うクラス会を2月に芦ノ牧グランドホテルにて行いました。60歳の還暦からは毎年実施しておりましたが、ここ2・3年の間に2名が亡くなり、また体調を崩されたり家族の世話等で参加できなくなつて、今回は9名の参加でした。

寄稿

出会いと感謝

旧職員 梨子本 傑（昭41C卒）

本校のセラミック科の前進である窯業科を昭和41年に卒業後、地元の碍子関係企業に就職し6年間勤めました。その間、製造全般・研究室での各種試験・技術開発・焼成関係に携わり窯業



今回をもって改めてのご案内は最後のクラス会といたしました。

技術を身につけることが出来ました。その後恩師の勧めで母校である本校の窯業科の教員に採用されて以来36年間窯業・セラミックを一筋に携わってきました。

企業での6年間に窯業技術に関する国家資格（熱管理士・ボイラ・危険物等）に挑戦した経験を生かして、工業高校生に必要な資格取得への意識を高める活動が出来ました。平成7年には福島県ボイラ協会より感謝状を頂き思いが認められました。

窯業技術も各種講座や関連の企業見学を受講しながら技術を深め技術指導に生かしてきました。勤続の思い出には、学科の中で本校が当番となつて開催された全国窯業教育研究大会があります。研究発表の成果によりセラミック科の設備を充実することが出来ました。さらに、平成4年には電気科、機械科、化学科の先生の協力により、マイコン温度制御による自作の電気炉でセラミックコンデンサの試作に取り組み、東北情報教育研究会にチームとして発表できました。平成8年にはセラミック超電体の製造法をセラミック科設置校でいち早く取り入れ、全国窯業教育研究大会で成果発表となり、技術指導・公開もしました。また、文科省の『目指せ

威風堂々

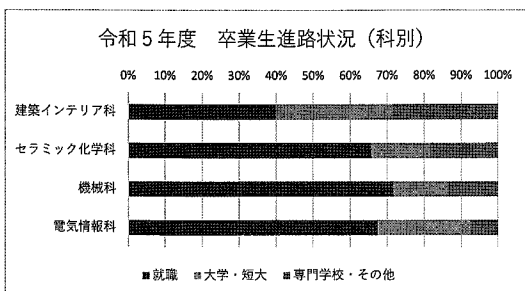
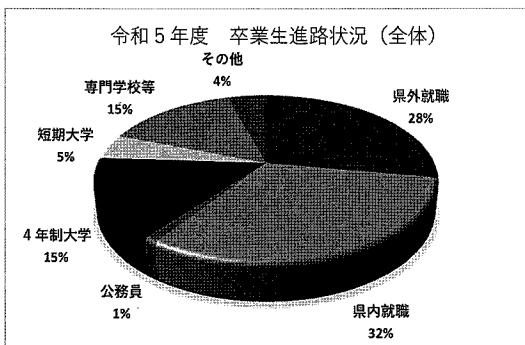
進路指導部から

主任 佐藤 聖

同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援いただき誠にありがとうございます。

さて昨年度の進路状況をまとめましたのでご覧ください。

就職者の合計は119名でした。このうち民間就職内定者は117名で、卒業生徒の約60%となり、例年通りの結果となりました。なお、就職の県内外の内訳については就業場所を基準に算出した数字となっております。



より大幅に増加しました。深刻な労働力不足のため、製造、建設、電気関係など多くの産業で求人が増えているようです。公務員については、2名合格しました。進学者の合計は66名でした。大学の割合が高く、専門学校との割合が下がりましたが、進学者全体の割合は昨年とほぼ同数でした。大学進学者は指定校推薦が多く、工業系の学部等に進んでいます。工業高校で学んだスキルを向上させ、将来的に専門性を生かした企業への就職を考えているようです。専門学校進学者は、工業関係以外の分野へ進学する生徒も多かったです。

最後になりましたが、今年度も生徒全員の希望進路実現に向けて全教職員が一丸となつて取り組んでいきたいと思つたので、同窓生の皆様も変わらぬご支援・ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

令和6年度卒業生

3 学年主任 石崎 晃

全国の会工同窓生の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。また、本校の教育活動に日頃よりご支援をいただき誠にありがとうございます。

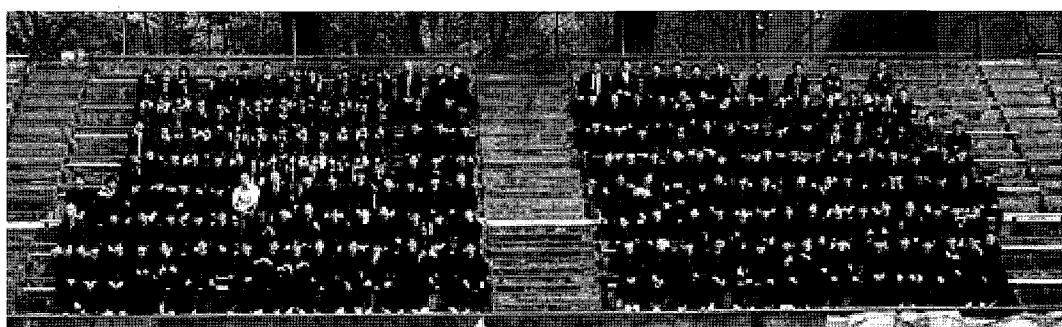
さて、令和4年4月8日に入学を許可されました生徒も、いろいろな出来事がありました。令和7年3月1日に卒業を迎えることになりました。

新入生の代表が「会工120周年の入学生として
相応しく、新しい制服とともに、爽やかに青春を謳
歌し、一所懸命に高校生活を送ること」と誓いまし
た。この3年間で多くの生徒達は、ずいぶんと逞し
く、会工生らしくなってきたようです。各自とも勉
学や部活動、資格取得などに向けて、それぞれの目
標を持ち日々取り組んでいたようです。

さて、生徒達は現在、就職・進学の実験に取り組んでいます。本年度から同窓会の方々による面接指導が就職希望者対象に計画され実施されました。これらの努力が報われ、自分の希望進路を実現して、晴れやかな気持ちで卒業を迎え、志高く笑顔で同窓会の仲間入りをしたいと思っています。

そして、卒業後には、社会人一年生となる卒業生は、職場や生活の場などで諸先輩のお世話になると思います。温かく見守りいただき、ご指導ご鞭撻下さいます様宜しくお願いします。その時には、本校の校歌を思い出し、ご唱和いただければ幸いです。

嶺は秀つる磐梯山 水は湛ふる猪苗代 これぞ乾



2学年より

2 学年主任 加藤 善範

会津工業高等学校同窓生の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援をいただき誠にありがとうございます。昨年４月に入学した生徒も２年生となりました。『誰もが何の心配もなく、心穏やかに学校生活を送ることができる』ことを目標に、また、中堅学年として先輩方から会工の伝統を引き継ぐとともに下級生へと繋ぐことができるよう、日々、勉学に部活動に頑張っているところです。

今年度は2学年にとって大切な行事が目白押しとなっています。インターンシップ、会工祭、そして修学旅行です。この3つの行事は全て10月に行われ、忙しい月となりました。

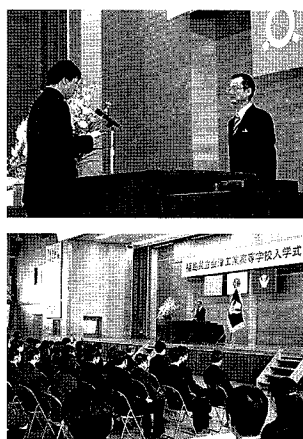
10月上旬に行われたインターンシップでは、同窓生も勤務される地域の企業にお世話になり、社会人としての心構えやマナーなどを学習しました。将来の進路活動を見据えて就労体験や企業についての理解が深められたと思います。まだ未熟な生徒たちです。諸先輩の会社にお世話になった際に多々、ご迷惑をお掛けしたかと思いますが、今後とも後輩の活動を温かく見守り、ご指導いただければと思います。

修学旅行は10月29日から11月1日にか

母校だより

けて実施予定されました。ウクライナや中東での武力行使など、世界にはいのちの危険にさらされ安心して生活が送れない地域があります。生徒たちに世界の平和について考えてもらうこと、また、他の地域の文化について見聞を広めることを目的に九州地方での修学旅行を計画しました。特に長崎の平和公園、原爆資料館、また長崎市内の自主研修を通して平和について考え、九州各地を回ることで今までは違う自分を発見するなど、収穫の多いものになったと感じています。

最後に今年度は将来に向けて進路活動の準備をする期間でもあります。この1年で進学や就職についてしっかりと考えることが必要となります。多くの企業からの求人があるのも同窓生の皆様の並々ならぬ努力があつてのことです。先輩方の名を汚すことのないように会工生として胸を張れる社会人を育成するために2学年スタッフ一同頑張つてまいりますので、今後ともご支援、ご指導をいただければと思います。



令和6年度新入生

1 学年主任 熊谷 好広

しました。ある子供が、高校受験の勉強をするうちに、頑張ればできるようになることがうれしと感じて勉強が面白くなり、高校生になった今でも毎日何時間も勉強を続けていて、学年で1、2を争う成績になった、というエピソードと一緒に伝えました。勉強を面白いと感じる、そのきっかけをこれからの高校生活で見つけてほしいと思います。

また、勉強も大事ですが、学校生活や行事、部活動を通じた人間関係もとても大切です。一生の付き合いになる友達や思い出も、たくさん作ってほしいと思います。特に今年は、3年に一度の会工祭がありました。本校の伝統を引き継ぎ、会工らしい企画を考え、全員が楽しく参加する、そんな会工祭にできるように、準備を進めて来ました。

学習面や学校生活、各種行事など、多くの場面で同窓会の皆様のご協力やご支援をいただいております。生徒たちはいいろいろな場面でそれらを感じ取りながら120年以上続く歴史と伝統を受け継いでいくと思います。3年後には、後輩に伝統を伝えることができる立派に成長した姿をお見せできるよう、学年と学校一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、同窓会の皆様の応援を、今後もよろしくお願いいたします。

「松江賞」「同窓会賞」受賞!!

松江賞

建築インテリア科
薦 陽 向



セラミック化学科
室 井 優 那



機械科一組
渡 邊 咲 泉



機械科二組
渡 部 暖



電気情報科
田 口 敬 斗



建築インテリア科
三 浦 龍 希



セラミック化学科
山 内 混 大



機械科一組
目 黒 暖 行 風



機械科二組
宗 方 聖 英



電気情報科
荒 川 寛 翔



同窓会賞



令和5年度卒（令和6年2月29日授賞式にて）

平和の覇者を育みぬ。

校歌から

学び舎 ロケーション① 専門課程は、いま。

A 建築インテリア科

主任 田中 哲
同窓生の皆様方、特に建友会の諸先輩方には日頃より大変お世話になっており改めて感謝申し上げます。今年度も本科の生徒は勉強に資格取得、部活動、生徒会活動に明るく積極的に取り組んでおります。今年度の建築インテリア科の関係職員は以下の通りです。よろしく願いいたします。

【建築インテリア科（A科）】
※今年度新たに転入
田中 哲
（科主任、3学年副担任）※
佐藤 聖（進路指導主事）
渡辺 学（2学年担任）
菅野 隼（1学年副担任）
飯塚 誠（実習教諭）
小針 勝（実習助手・新採用）
【クラス担任】 ※A科職員省略

◆1学年 担任 大石 友里恵（国語科）
◆2学年 副担任 高橋 芙美（数学科）
◆3学年 担任 武山 小百合（社会科）

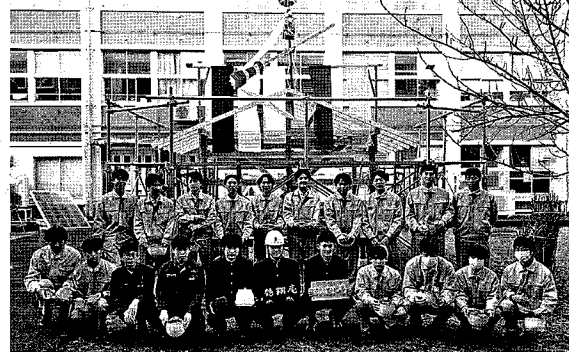
さて令和5年度の進路状況ですが、前年に引き続き建築業界からの求人数は多く、恵まれた年となりました。就職14名、進学21名で、就職者の約半数は地元企業へ就職をしました。進学者の内訳は大学・短大が半数以上を占め、残りは専門学校への進学となりました。就職・進学共に建築の分野を希望している生徒は全体の約半数以上となりました。

次に昨年度からの生徒たちの活躍を紹介します。まずは、中央工学校主催の「第18回高校生対象コンペティション」において、緑川ももかさん（現3年生）が見事、693点中最高位の「最優秀賞」に輝きました。この受賞に当たっては、建友会会長の白井武男様のご指導を仰いでの結果となりました。大変お世話になりました。続いて、宮城県エグ

ステリア協会主催の「第10回高校生によるガーデン・エクステリアデザインコンテスト」において、鶴岡悠斗くんが優秀賞、入選に渡部未宇さんと渡部高凱くん（現2年生）3名が受賞を果たしました。令和6年度始まって早々の吉報となりました。

また、今年度から前期6月受験とした、2級建築施工管理技術検定第1次検定では、3年生の25名及び、一緒に勉強した2名の教員が合格を果たしました。前年度の8名の合格者から倍以上の合格率となりました。その他、国家技能検定3級（建築大工17名・鉄筋加工11名）でも数多くの合格者を出しました。それに伴い、全国工業高等学校校長協会主催のジュニアマイスター顕彰制度では、昨年度を上回る多数の受賞者を輩出できそうです。

校内全体の活動として「福島イノベーションコースト構想事業」では、白井設計様の設計指導や「スキルアップ向上事業」を含めた「鶴翔庵プロジェクト」の様子



茶室「鶴翔庵」建前の様子

エクト」での校内中庭に茶室を制作するなど、地元企業の倉本建築様はじめ、坂上左官様、松本板金様のお力添えもいただき各種事業に取り組んでいるところです。

以上のように同窓生の方々と地域の企業各位にお世話になりながら教育活動が行われています。今後とも生徒の学習活動に温かいご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

校内全体の活動として「福島イノベーションコースト構想事業」では、白井設計様の設計指導や「スキルアップ向上事業」を含めた「鶴翔庵プロジェクト」の様子

C セラミック化学科

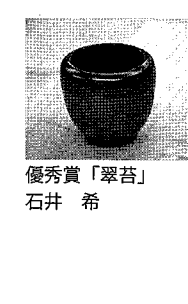
主任 大塚 正幸
同窓会の皆様には日頃より大変お世話になり、誠にありがとうございます。今年度は男子24名、女子16名の合計40名を新たに迎え、総勢117名がセラミック化学科の学習をはじめ資格取得・部活動に、明るく元気に励んでいるところです。

【セラミック化学科の職員】
大塚正幸（主任・石崎 晃（3学年主任）・熊谷好広（1学年主任）・村田光夫・大濱達明（OB）・菊地 巧
【クラス担任・副担任】
◆1学年 担任 熊谷 好広
副担任 安部有香子（英語科）

◆2学年 担任 加藤 善範
副担任 大塚 正幸
◆3学年 担任 石崎 晃
副担任 梅田 智也（国語科）



「飛翔」 渡邊 人



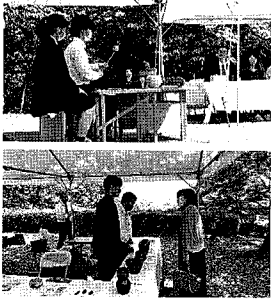
優秀賞「翠苔」 石井 希

◆2024福島県高校生ものづくりコンテストに出場する2年生の2名が夏休み中も大会に向けて、練習してきました。2名とも、上位入賞に向けて全力で取り組んでいました。

◆学科花見を実施。今年度も晴天のもと実施することができ、1年生の自己紹介やビュッゴ大会、コーラ早飲み大会などを行いながら、学年を通して楽しく交流できました。



◆向羽黒山城まつり(第20回ふれあい茶会)が開催され、セラミック化学部陶芸班と茶道部の生徒が参加しました。お茶席の他、学科作品紹介のコーナーもあり、多くのお客様が生徒のお点前を楽しみ、作



品の説明に興味深げに耳を傾けていました。

◆会津本郷せと市に参加しました。参加した生徒は、2・3年の3名と少なかつたですが、自分で作った製品が売れることが、今後の作品作りのモチベーションに繋がったようです。今回も完売することができました。



今年度は、会工祭など多くの行事やイベントが実施されます。このような行事を通して多くの地域の方々とふれあい、セラミック化学科をアピールしていきたいと思っています。それらの様子はホームページなど活用し、生徒たちの元気な活動内容を外部に発信していきたいと思っています。これからも、同窓会の方々のご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。

M 機械科

主任 岩橋 学

今年度は男子79名、女子1名の入学を迎え、2年生は男子78名、女子1名、3年生は男子74名、女子1名、総勢234名でスタートしました。

人事異動では、本校機械科に2年間勤務された渡部鉄仁先生が喜多方桐枝高校に転出されました。後任として、小高産業技術高校から前田健登先生が赴任し、新採用として先崎義実先生が着任されました。今年度も再任用教諭として茂木利幸先生、栗田克志先生にご尽力いただいております。そのため、今年の機械科の教員は14名となっております。

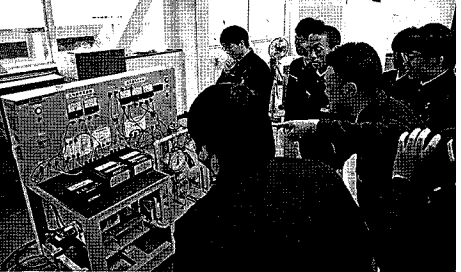
各クラスの担任は、1M1は渡辺智也教諭(工業・機械)、1M2は篠原宏和教諭(理科)、2M1は藤田康平教諭(工業・機械)、2M2は太越徹也教諭(数学)、3M1は星義一教諭(工業・機械)、3M2は齋藤辰也教諭(保健体育)でクラス経営にあたっております。

機械科では、「ものづくりは人づくり」を科の重点目標に掲げて、教育活動にあたっております。基礎・基本の定着と基礎



3年電気エネルギーコース

は遠藤悠先生が3年の担任は斎藤啓先生が務めます。電気情報科の活動については、学校HPに掲載していく予定です。同窓生の皆様にも目をかけていただければ幸いです。末筆ではございますが、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



3年電気エネルギーコース

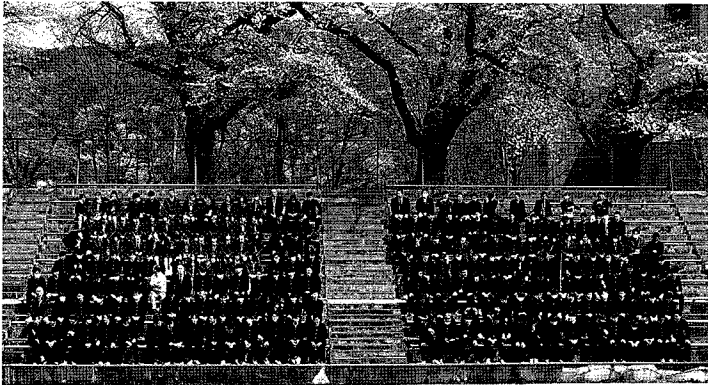


2年情報テクノロジーコース



2年情報テクノロジーコース

学力の向上を図りながら、ものづくりの「面白さ」「楽しさ」「魅力」を伝え、社会で通用する人材の育成に向けて職員一丸となつて取り組んでおります。前年度の入学より一人一台端末利用のGIGAスクール構想、新学習指導要領の実施により、指導と評価の一体化を図るなど、これから新しい取り組みが増えていくこととなります。様々な変化に対応できるよう工夫しながら教育活動に取り組んでおります。昨年度から新型コロナウイルス感染症が5類にかわり、社会情勢も変化しております。



しかし、感染症対策を講じながらの教育活動は変わりません。福島イノベ構想推進産業人材育成確保事業において、地元企業のサンフライト、JYUK会津、三菱マテリアル、専門学校テクノアカデミー会津やいわき市の日産自動車の施設見学なども行うことができました。生徒のキャリア教育としての企業・工場見学も行い、今後も新型コロナウイルス感染症とにも生きていかなければならないという認識に立ちつつ、様々な変化に対応できる人材の育成と生徒ひとり一人の輝ける未来のために努力してまいります。

・2月：同窓会機友会入会式

〈進路について〉

昨年の進路状況は、生徒の進路意識を高めるため、6月に校内企業説明会を行いました。7月末から8月にかけて企業見学会、9月には就職試験が行われ、大方通常通りの進路活動となりました。3年生の頑張りのもと、今年度も希望進路内定率100%を達成することができました。就職が53名、四年制大学9名、短期大学2名、専門学校10名の計74名が立派に巣立っていかれました。現在進行形ではありますが、今年度(令和6年度)も多くの企業様より求人を出してくださることができ、進路活動を進めていることをお伝えしておきます。

〈各種大会への参加と活躍について〉

- 福島県高校生ロボット競技大会ベスト8
- 福島県高校生ものづくりコンテスト2023旋盤作業部門第3位
- 福島県高校生ものづくりコンテスト2023溶接部門 学校対抗 第4位

〈各種資格取得について〉

ガス溶接技能講習修了、ボイラー取扱技能講習修了、機械製図検定、基礎製図検定、危険物取扱者、技能検定旋盤三級などの各専門分野の資格取得に向け

◆各種大会などの取り組み

- ・福島県高校生ものづくりコンテスト
- ・電気工事部門
- ・電気回路組立部門
- ・コンピュータアイデアコンテスト
- ・パソコン甲子園プログラミング部門
- ・ロボットアイデア甲子園

◆主な資格検定への取り組み

- ・第一種電気工事士
- ・第二種電気工事士
- ・2級電気工事施工管理技士補
- ・工事担任者第二級デジタル通信
- ・基本情報技術者
- ・ITパスポート試験

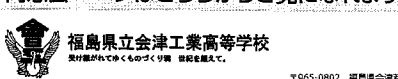
会津工業高校ホームページのご案内

～パソコン・スマートフォンからご覧になれます～

本校ホームページでは、学科紹介の他、生徒の学校生活・部活動の様子も紹介しています。また同窓会ページでは、同窓会からの連絡・過去の同窓会報の掲載・各支部(地域や企業、各科の同窓会)での活動の紹介をしています。

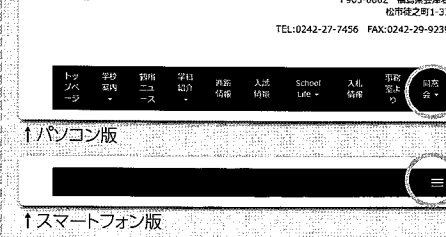
本校HPアドレス <https://aizu-th.fcs.ed.jp/home>
連絡用メールアドレス kaikoudousoukai@agate.plala.or.jp

同窓会ページはこちらからご覧になれます



〈お願い〉

同級会や部活動、OB会など開催された際には会報掲載用の紀行文・写真を連絡用メールアドレスにお送りいただくと幸いです。



奮るえや会工の健男児 応援歌から

学び舎 ロケーション② 2024会工、鍛えの各部

サッカー部

顧問 江本 幸
加藤 善範
中川 滉也



現在サッカー部員は、3年生12名、2年生15名、1年生22名の選手49名と女子マネージャー5名の計54名で活動しています。放課後の活動は、グラウンドの

半面だけの練習と週に1〜2回会津総合運動公園の人工芝サッカーグラウンド一面を使用し、チーム戦術や個人のスキルアップを図ることができ大変有意義に練習ができています。昨年度は、夏・冬休みに県内外のフェスティバルに参加し、強豪校との試合を通して強化を図ってきましたので、今年度も同様に強化を図っていききたいと思います。過去会津工業高校サッカー部は、インターハイ県大会3位、福島県サッカーF1リーグ準優勝、福島県サッカーF2リーグ優勝、全国高校サッカー選手権大会県大会3位、新人戦県大会優勝と輝かしい成績を収めてきました。厳しい冬の寒さや雪との戦いを言い訳にせず、強い気持ちを持ちながら必死に頑張ってきた「証」だと考えます。

ここ数年間は、県大会に出場しても1回戦を突破することが増えてきました。日本サッカー協会の発表により全国プレミアリーグ、北海道・東北・関東・北信越・関西・中国・四国・九州・沖縄プリンスリーグ、47都道府

県の県リーグ1部2部3部を作り、リーグ戦の中で勝敗を決めて各カテゴリーに昇降格させるシステムを作り上げました。会津工業高校サッカー部は、リーグ戦初年度から県リーグ1部に所属していましたが、現在はF3リーグ（会津地区リーグ）に降格しています。今年度こそ会津地区リーグで優勝しF2参入リーグ戦で勝利し、F2リーグ昇格を果たしたいと思っています。

F3リーグ（会津地区リーグ）では勝利する確率が高い試合が多いですが、自分たちの力が県レベルでどれだけ通用するか知るためにも、F2リーグに再昇格し、厳しい戦いのなかで成長し続けたいと強く思います。応援の程宜しくお願いします。

ソフトテニス部

顧問 小池 恵生
安島 翔平
菊地 巧

ソフトテニス部は、新たに1学年男子6名が入部し、2年生18名、3年生2名を合わせ、総



勢26名で活動しています。今年度も男子の1年生が入部してくれ、日々の活動に元気がよく励んでくれています。残念ながら女子の入部はありませんでしたが、今後女子部員が入部し、女子の活動を再開できることを期待しています。

私たちの活動目標は、地区大会優勝および県大会ベスト8以上進出を掲げており、個人戦においては全員が県大会に出場できるように日々切磋琢磨しながら練習に励んでいます。この1年間の大会実績は、地区大会男子団体、男子個人戦において優勝個人戦ベスト32が最高位で、特に県大会では思うような成果が得られていないのが実情です。

本校にテニスコートがないため、会津若松市営のテニスコートをお借りして練習しています。荒天時の移動など急な予定変更に不便を感じることもありますが、目標に向かって部員一丸となつて励んでいます。

日々の活動が保護者の皆様、応援してくださる地域の方々、先輩方のご支援があったからこそ、常に感謝の気持ちを忘れず、より一層精進する所存です。今後ともソフトテニス部の活動を応援いただきますようお願いいたします。

バスケットボール部

顧問 阿部 哲也
渡辺 悠
遠藤 悠

私たちバスケットボール部は、選手24名（3年生7名、2年生5名、1年生10名）とマネージャー3名の計27名で会津地区大会優勝を目標にして日々練習に励んでいます。普段の練習ではどんなチームを相手にしても当たり負けしない体作りとディフェンスを強化するための練習を中心に取り組んでいます。先日行われたインターハイ福島県大会では磐城桜ヶ丘高校を相手にあきらめることなく最後まで食らいついていき、最後まで戦い抜きましたが、1回戦敗退という悔しい結果となってしまいました。しかし試合を通して3年生が強豪校に向かっていった姿勢は、私たち後輩から見ても頼もしく、尊敬できる姿でした。そんな先輩から託されたバスケットボール部の伝統を受け継いで行きたいと思っています。

現在は新チームとなり、体力向上や走力の強化に努め、厳しい練習に耐えて頑張っています。夏期休業以降は福島市や郡山市県外のチームとも練習試合をして、力をつけていきたいと思っています。また学校でも、ライバルチームに絶対負けたくないために会津地区で一番いい練習することを目指して日々練習に取り組んでいます。地区大会で優勝するためにチームの団結力を強化し、チーム全員が何事にも全力で取り組むことが大切です。また練習中や試合中に声を出すことによって良い雰囲気になり、コミュニケーションを取ることも繋がります。部員全員で声を出し続け勝利を掴みたいと強く

く思います。

最後に私たちが全力で練習に励むことができるのは、様々な場面でサポートして下さる保護者の方々、バスケットボールを熱心に教えて下さる顧問の先生方のおかげです。今という瞬間を大切に、毎日練習に集中して取り組み、一試合でも多く勝つことが私たちに関わってくれた人々への恩返しになると信じ、会津工業バスケットボール部らしい泥臭いプレーをして勝ち上がっていきたく思います。（2M2 五十嵐 稟太）

バドミントン部

顧問 古川 和則
渡辺 智也
栗田 克志

バドミントン部は、男子23名（3年生4名、2年生5名、1年生14名）、女子2名（1年生、マネージャー2名）で活動しています。今年度の高等学校体育大会の地区大会では、学校対抗戦第3位、ダブルス優勝、シングルス優勝の成績を残し、ダブルス2ペアとシングルス3名を含めた合計8名が県大会に出場しました。地区総合スポーツ大会においてもダブルス第3位、シングルス準優勝の成績を残し、ダブルス3ペアとシングルス4名が県大会に出場しました。ダブルスベスト8（1組）、シングルスベスト16（1名）の成績を残すことができました。3年生は

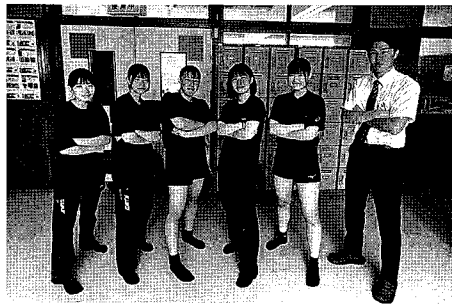


高等学校体育大会県大会、県総合スポーツ大会を終え、進路実現に向かって活動をしています。今年度の新チームは下級生の時から県大会に出場している部員もいるため、非常に有望なチームだと思っています。新人戦東北大会を目指し、毎日生徒たちが自ら練習を考え、ハードなメニューで練習をしています。時には輝かしい成績を残したOB・OGの力を借りて練習しています。運動面だけでなく人間性や社会性を育み、すべての方々に感謝の気持ちを忘れず目標に向かって頑張ります。応援よろしくお願いします。

バレーボール部

男子顧問 小針 勝
前田 健登
女子顧問 菅野 隼
高橋 美実

バレーボール部は男子部23名、女子部5名で活動しています。常に「意識」することを重要視し、今この練習は何の技術を向上させるために行われているのか、体のどこを意識して動かすべきなのか等、限られた時間の中で内容の濃い練習が出来るように、一つ一つの練習の意義を考え、丁寧にを行っています。女子部では少ない人数の中で、全員が同じ目標に向かって反復練習を日々繰り返して、着実に技術



を身に付けています。県大会上位入賞を目指して練習に励んできましたが、今年度は県での主な成績を残すことができず、7月の大会で3年生は引退となりました。しかし、男女ともに強豪校に屈することなく自分たちのバレーを表現することができました。これもひとえに先生方やOB・OGの方々、多くの方々からご指導・ご助言を頂いたこと、大会の開催に全力を尽くしていただいた運営の方々、保護者の皆様のサポートのおかげだと思っています。今後でも礼儀や感謝の心を大切に、一人一人が人間力を磨き、チームワークを高め、上位大会での活躍ができるよう、努力していきます。今後ともよろしくお願いします。

ボクシング部

顧問 篠原 宏和
星 義一
部活動指導員 遠藤 広大

私たちボクシング部は、男子選手9名と女子選手2名、女子マネージャー2名の13名で篠原先生・星先生・遠藤コーチのご指導のもと、各自が目標を持ち、目標に向かって日々練習に励んでいます。

1日の練習は各関節の可動域を広げるウォーミングアップから始まり、ゲーム形式で体を温め、イメージ練習を経て実戦練習になります。実戦練習の後は各自でメニューを立て自主練習になります。実戦練習の反省を活かし、日々成長するように心がけています。練習時間はウォーミングアップを含めて2時間



(2M1 室井 慶汰)

顧問 藤田康平

過去には全国インターハイにも出場したという経験があり、先輩方が繋いだ思いを胸に、今後も繋げられるよう、一人一人が意識を高く持ち、団体戦では一人の矢の重みを感じながら、限られた練習時間の中でそれぞれがベストを尽くせるように、時間を有効に活用し顧問と部長が一人となり、花津工業高校の伝統を大事にして練習を重ねていきたいと思います。また、「全

顧問
馬場
正
寸

今後は、部の目標である正しく強い剣道を体得し、各種大会でも上位進出ができるように練習を積んで行きます。さらに感謝の気持ちをお忘れず、人間性や社会性も身に付けたいと思っています。これからも、同窓生の方々の良い報告ができるよう、練武していきますのでよろしくお願い致します。

顧問 大塚雄介

硬式テニス部は、2年生4名、1年生3名の7名でインターハイや新人戦などの団体戦、個人戦での上位入賞を目指して日々の練習に励んでいます。学校にテニスコートがないため、毎日の部活動は会津総合運動公園テニスコート（会津道庁・門田緑地）テニスコートで取り組んでいます。保護者様のご理解や学校関係からのご支援があつて硬式テニス部が活動していけることに感謝申し上げます。

本テニス部員の多くは、これまでにてテニス経験がない生徒がほとんどですが、そうした中で

部員のほとんどが高校から柔道始めた初心者で、練習はもちろん試合も初めて経験する者ばかりです。練習内容は、平日は準備運動、寝技と立技の基本練習を主体に活動しています。その他、寝技の打ち込み・乱取り、立ち技の打ち込み・乱取り、サーキットトレーニングなど多彩な活動しています。長期休業中は合宿や練習試合や遠征など結構ハードな活動をしています。その結果、昨年の大会では、団体戦3位入賞を果たし、個人戦でも3M1の本田君が2位に入賞しました。

24

会工同窓会報No.49
'24(令和6)総会号

顧問
梅田智也

顧問	梅田智也
先崎義実	
部活動指導員	

山口正之
今年度2名の新入部員を迎え、
総勢10名の部員で活動をしてい
ます。平日は、15時30分から18

と思います。今後も生徒一丸となつて取り組んでいきたいと思っていますので、ご支援よろしくお願いします。

24 | 会工同窓会報No.49
'24(令和6)総会号

は力なり」という言葉

顧問 永峯宏彦

水泳部は、11名（2年生6名、1年生5名）で活動しています。今年度は新入生5名が入部し、競技力向上に向けた練習だけでなく、月1回程度の奉仕活動を行いながら、本校の教育目標である人格の完成を第一に掲げ活動しています。また、「水泳を動して楽しむ。また、「水泳を動して楽しむ。仲間と楽しむ」という事を忘れず、1度しかない高校生活の部活動が有意義で楽しいものになるように1日1日を大切に過ごしています。周年行事となっているプール掃除もゴールデンウィークの期間中に皆

今年度は、県高校体育大会に4名出場しました。その中で女子50M自由形において渡部優妃乃（2C）が8位入賞を果たし、今年度も東北大会を勝ち取りました。なお、郡山市で行われた東北大会では予選敗退となりましたが、2年生ながら上位大会出場を果たし、得るものもあつたようです。

顧問 安部 克彦

安部	境	顧問
有香子	拓哉	安部克彦

完成に向けて、楽しく活動していきたいと思っています。

今年度の卓球部は、男子16名、女子1名の計17名で活動しています。

活動目標としては、地区大会団体及び個人戦での優勝、県大会ベスト４以上進出を掲げて、日々の練習に取り組んでいます。ここ１年間の大会実績を振り返ると、地区大会においては、団体戦で準優勝、男子シングルスでは準優勝、男子ダブルスでは優勝が最高位でした。会津地区では、強豪の部類に入る活躍をしてくれています。しかしながら、県大会においては、団体戦

とはいえ、本校では文武両道を掲げています。部活だけでなく、勉強も大事してほしいと思います。やるべきことと、その優先順位を間違わずに活動できる選手が多く存在する部で在ってほしいと思います。

最後になりますが、日々の活動をご理解いただき応援してくださる保護者の皆様、地域の方々、先輩方に感謝の気持ちをお忘れずに、より一層精進して参ります。今後ともよろしくお願ひいたします。

顧問大越徹也

顧問
大齋
越藤
徹辰
也也
啓也

「勝利への執念」
現在野球部は、選手33名（1年14名、2年11名、3年8名）、マネージャー2名で活動しております。

過去の先輩方の教訓を胸に、「一球」にこだわりを持ち日々の練習に取り組んでいます。

大会では、勝利を収めることが
できず、とても悔しい思いをし
ました。しかし、敗戦を自分の
糧にし、自分の弱さと真摯に向
き合い練習に励みました。春季
県大会では、郡山高校を相手に
3対2と粘り強さを見せて勝利

するまでに成長しました。夏の大会は、第8シードの福島商業を相手にあと一步のところまで惜しくも敗戦となりましたが、自分たちが目指してきた野球を応援してくださった方々に見せることができたと感じております。

保護者の皆様やOBの方々・

雪下良治

雪下良治
石崎晃
大石由里恵

音室内の落書きを1年前の夏休みからすてきれいに消してから、競技成績が上がり始めました。自分たちが利用する「環境」はとても大事で、ある意味リビングともいえる部室の整理整頓が第一だと考えて、昨年の3年生を中心に改善作業を行いました。その後の鼎新入戦から東北大会出場種目が復活し生徒たちの「やればできる」の気持ちも盛り上がりを見せました。厳しい冬季練習の成果は5月から始まったインターハイ路線でも発揮され、1600m競歩の伊藤友仁、1600mリレーチームが東北大会に進出しました。その直後に行われた会津地区総合スポーツ大会では1600mリレーで大会記録を更新し、県総合スポーツ大会でも400mリレー、1600mリレーの両種

25 | 会工同窓会報No.49
'24(令和6)総会号

会工同窓会報No.49
'24(令和6)総会号

目で決勝進出を果たし、県内の強豪校と肩を並べるまでに成長しました。1年経った今でも部室内は綺麗に保たれ部員一人一人の心がけが伝わってきます。学校生活も同様ではないでしょうか。整理整頓は環境だけでなく、服装や頭髪からも影響を受けるはずです。部活動の活性化や部活動で活躍する生徒が学校の中心となり勉学そして活躍できる生徒が増えていく会津工業校になってほしいと願いながら日々活動しています。



美術部

顧問 田代 淳子
副顧問 海和 寛



主な活動は、作品制作と展覧会運営・参加です。我々の最大の目標は、「福島県高等学校美術展」で福島県の代表作品に選ばれることです。近年は会津地区からの代表選出がなく、また県内300点中6点程度の狭き門です。それでも、メンバー間で技術と感性を磨き創作力向上を目指して頑張っています。我々は、今しか描けない絵を探求しています。放課後の夕景が綺麗だったこと、人間関係や感情の不思議さ、自然の美しさや生命力を感じたこと。美術部員13名の想いが作品に込められています。展覧会や文化祭でご覧いただくと幸いです。今年度の活動実績についてです。7月の「会津地区高等学校美術連盟展」には、17作品を出

展しました。他校との合評を経験し、同年代の熱気に触れ、やる気とアイデアを持ち帰りまし。8月には高文連美術・工芸部門（会津支部）主催の「高校生のための実技講習会」に参加しました。これは美大生からテクニクを学べる2日間です。65×50cmの画用紙にデッサンを描き上げました。また冬季には「福島県高等学校美術展」と「高校生・あいつ美術展」に参加する予定です。部外の依頼も受注しています。ロボコンポスター原画は1年の小野環、会工祭ポスター原画は2年の水野佑梨が作画しました。「まだできる。もっとできる」とは、ある部員が後輩にアドバイスしたときの台詞です。今後も前向きに頑張りますのでご支援・ご指導よろしく願っています。

吹奏楽部

顧問 栗城 和枝
大木 孝之
土田 幸良

現在、吹奏楽部は少人数ではありますが、小編成ならではの演奏の楽しさを味わいながら日々の活動に取り組んでいます。小編成であるため一人一人に課されるパートの役割は大きく困難もありますが、不足している音を他の楽器で補うなど工夫をしながら表現の幅を広げていま

す。今年度は初の試みとして、喜多方桐蔭高校、南会津高校と三校合同で夏の吹奏楽コンクール会津支部大会に出場しました。「小編成の部」において銀賞を受賞し県大会へ出場できたことは次の活動へつなげるステップとなり大きな収穫を得ることになりました。数少ない合同練習会でいかに曲の完成度を高められるか、ステージ演奏に臨むまでの苦勞がありましたが、しかし、限られた条件の中で集中力を高め、困難に直面しても逃げない忍耐力を身に付けることができました。



隔年開催の吹奏楽部定期公演は、10月に公開文化祭があるため学校の体育館にて演奏会を実施しました。部員一丸となってアイデアを出し合い創造性豊かなステージを企画しました。後輩の活動を見守り支えて下さる先輩方の期待に応えるためにも、より一層の努力を重ね活発な活動を展開していきます。今後とも諸先輩方のご指導・ご支援をよろしく願っています。

演劇部

顧問 熊谷 好広
岩橋 学



演劇部は現在、2年生6名、1年生1名の計7名で活動しています。昨年度は12名の部員がいましたが、今年度は1年生が1名のため、小人数精鋭で頑

張っています。他の地区では、部員が3名でも最優秀賞を受賞している学校もあります。人数の少なさを言い訳にせず、上位大会に進めるように全員が努力しています。6月に、今年度初めての大会である「春の発表会」がありました。この大会までは3年生もいたため13名の部員で参加することができ、登場人物も多く大道具などの舞台セットにもこだわって、見ごたえのある舞台を上演することができました。他校からの評価もとても良かったです。春の発表会では上位大会にはつながらないものですが、3年生最後の上演はともいって発表会が締めくくることができました。

9月には「秋のコンクール」があります。このコンクールが唯一、上位大会へ進める大会となるので、まずは県大会出場を目指して頑張っています。普段の発声、活舌、筋力、柔軟運動などの基礎力の強化を行いながら台本の執筆も行っていますが、人数が少ない中でお客様にどのように見せるか、台本・演出担当の腕が問われます。いつものように、担当者だけでなく全員で協力してアイデアを出し合い、春の発表会以上の作品となるように真剣に準備・練習に取り組んでいます。部員同士の中がとても良いところも、演劇部の素晴らしいところです。これからも、全員が楽しんで

取り組める部活動づくりを目指し、一人一人が部のために何をすべきか考えて、最高の部にしていきたいです。

写真部

顧問 片寄 悦広
真田 郁夫

会津地区写真専門部が主催する令和6年度の技術講習会は本校を会場として行われた。プロの写真家である水咲奈々氏をお招きし、二コマイメージングジャンプの協力（カメラの貸与）のもと、「カメラの使い方、写真の魅力」をテーマに、○カメラの基本的な使い方、効果的な使い方、様々な機能を学ぶ。

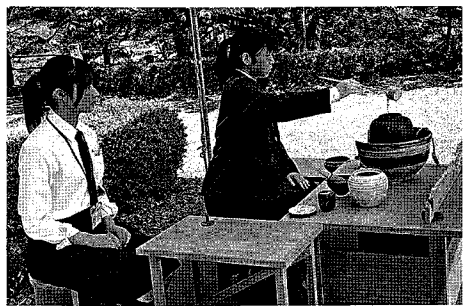
○プロの写真家から写真の魅力を学ぶ。

○個人・班で撮影した写真を相互鑑賞するとともに、講師の指導を通して撮影技術を向上させる。

という基本構想を本校生を含む40名近くの生徒が熱心に受講し、個人やグループで撮影した作品を論評していただき、技術の向上につなげる活動ができた。その後、学んだ技術を実際に活かすための活動の一環として7月13日に伊佐須美神社や喜多方市で開催されたレトロ横丁のイベントを回る合同撮影会に参加した。天候に恵まれたこともあり11月28日から開催される県写真展への出品を目指し、汗だ

茶道部

顧問 村田 光夫
洪井 祥雄



今年度の茶道部は、3年生6名、2年生4名の合計10名で活動しています。指導者は、昨年引き継ぎ茶道裏千家淡交会神田恵子（宗恵）先生です。

昨年度からコロナ以前の活動に戻りました。これから今年度の活動報告をします。まず初めに、5月26日（日）旧会津本郷町の向羽黒山城跡にて「ふれあい茶会」が開かれました。西陵

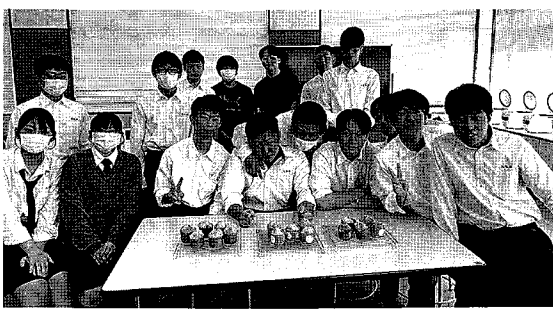
生活科学同好会

顧問 齋藤 桂子

生活科学同好会は、学年・科を問わず、いつも穏やかな雰囲気で行っています。

何をやるかを考え、分担しながら調理をし、完成した料理やお菓子の感想を言い合いながら試食をするのは、とても楽しく、毎回盛り上がりがあります。

また、今年度の会工祭では、中庭に建てられた鶴翔庵（茶室）で茶道部のお点前に合わせた茶菓子を出す予定で、準備を進めております。練習を重ね、来校された方に喜んでいただけたら、力を合わせて頑張りたいと思っています。



建築インテリア部

顧問 飯塚 誠

建築インテリア部の中心活動は、高校生ものづくりコンテスト木材加工部門への参加と国家検定である技能検定試験の3級技能士（職種：建築大工・鉄筋施工）への受験、合格です。ただし今年度は、文化祭に向けて鶴翔庵の建て方を課題研究メンバーとともに取り組んでおり、完成に向けて準備をしています。



ものづくりコンテストには、例年4名の選手が出場しており、学年に関係なく、まじめに活動をし、丁寧に作品を仕上げられる選手が選ばれています。今までの経験を積んできた3年生の指導や、外部講師として倉本建築（株）の倉本文夫さんからの指導をいただけて練習をしています。令和3年度の大大会での4位が過去10年間での上位成績となります。

検定試験への受験には、建築

セラミック化学部

顧問 大濱 達明

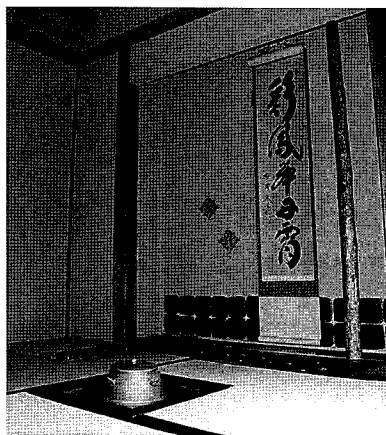
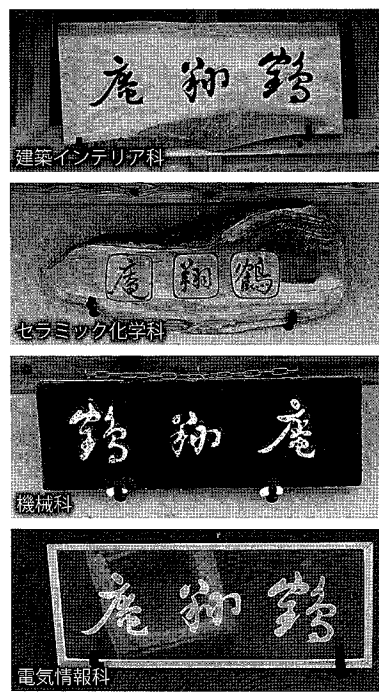
セラミック化学部では、「地域貢献班」「陶芸班」「化学分析班」の3班に分かれ現在は22名で活動しております。

地域貢献班は、5月に行われたふれあい茶会や、8月の会津本郷せと市に参加しました。今年も多くの人々が来てくださり、無事に終わることができました。

陶芸班は、会津美術展に3年生の石井希、渡邊、2年生の遠藤万里の3名が出品するすべての作品が青少年奨励賞を受賞することができました。夏の全国統一陶芸技能検定では、受験者全員が合格し練習の成果を存分に発揮することができたと思います。そして、今年度は会工祭も

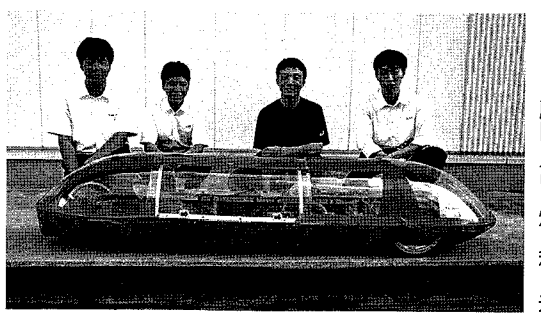


会工祭2024開催に向け“鶴翔庵プロジェクト”が建築インテリア科の主導で取り組み、4学科合作として校内中庭に茶室が制作された。
会工祭開催に合わせて披露され、各科のスキルアップが鶴翔庵の銘板に表れている。
2024.10.19-20



あるためそれに向けての商品作り、作品制作に力を注いでいますので多くの人に来校していただきたいと思っています。
化学分析班は、10月に行われるものづくりコンテスト化学分析部門に出場する2年生の村澤澤月、中川莉旺の2名が本番に向けて一生懸命頑張っており、日々の成果を存分に発揮してもらいたいと思っています。
それぞれの班が切磋琢磨し頑張っております。1年生にも早く一人前になって作品の展示や地域の人のふれあいなどにも貢献して欲しいと思っています。今年は会工祭といった大きなイベントもありますので多くの人に来校していただきセラミック化学部に少しでも興味を持ってくれる方がいると嬉しく思います。

今年の機械研習部(カート班)は、3年生1名・1年生3名の計4名で活動しています。4月の秋田県大潟村で実施された12Vのバッテリー4個を支給されて1周6kmのコースを2時間でどれくらい走れるかを競う全国大会WEM(ワールド・エコノ・ムーブ)には、3年生1名しかいなかったため、残念ながら不参加でした。
9月に栃木県茂木町で実施されたEnergi-MOTEGI GP(乾電池40本でロードコース(約4km)逆走を何分で完走するかタイムアタック)には8月に実施された走行会にモーターを変更し参加しました。上り坂ではサーキットブレーカー



顧問 高畑利夫
機械研習部「カート班」



が落ちてしまうアクシデントがありましたが無事完走することが出来ました。当初部員が3年生1名だったので活動に不安がありました。1年生3名が入部して活気が出てきました。体力作りや機械操作の基本を学びながら、カート製作に取り組んでいます。
今年度のロボット班は、3年生が7人、2年生が1人、1年生が1人の合計9人で活動しています。主な活動として9月に開催される「福島県高等学校ロボット競技大会」へ参加するロボットを製作し、全国大会への進出を目指して活動しています。大会に参

顧問 安斎光一
機械研習部(ロボット班)

加したチームの中で、完成度が高いロボットはビッグパレットふくしまで開催される「ロボット・航空宇宙フェスタふくしま」で実演発表をすることができ、昨年度は日ごろの活動を広く発信することができました。また地域貢献の一環として、小中学生を対象にロボット製作教室を実施したり、「ロボコンINあいつ」に参加して地域の方と交流を深めたりしています。
ロボット作りでは、生徒が中心となってアイデアを出してパソコンで3Dデータを作って設計し、工作機械や3Dプリンターを使って、部品を作って組み立てをして、できた機構に回路を組み込んでプログラムをして、自作した木製の競技用コートで操作練習をします。そのため、ロボット班では、機械設計、部品加工、回路製作、プログラミング、木材加工などの技術を磨くことができ、自身の好きな専門分野の知識や経験を深めることができます。今年は電気情報科の部員が来てくれたので、回路やプログラム作成がとてもスムーズで、早くロボットを完成させることができました。
3年生が卒業すると部員が少なくなるので技術を繋いでいけるように連携や協力をして活動していきたいです。

電気情報研究部は電気情報科の生徒を中心に活動している部活動で、令和6年度は23名が所属しています。「パソコン甲子園」を始め各大会に向けて練習に励む生徒や、資格取得を目指して学習をする生徒がそれぞれ目標に向けて活動をしています。今年度は「ジャパンマイコンカーリーベシック部門とアドバンス部門、カメラ部門」「ロボットアイデア甲子園」の他に、いくつかのアイデアソンに出場を予定しています。また、「高校生ものづくりコンテスト」電気工事部門に1名と電子回路組立部門に2名、「パソコン甲子園プログラミング部



顧問 池田政人
電気情報研究部

門」には6名が参加します。各競技環境がコロナ禍以前の状態に戻りつつある今、今後も技術を競い合う機会が失われないことを祈るばかりです。
資格取得を目指す生徒は、ITパスポート試験、基本情報技術者試験、工事担任者第2級デジタル通信などに挑戦中です。CBT方式を新たに取入れた資格試験が増え、試験に挑む機会が増えました。目標を定めて是非合格して欲しいところです。幅広く活動する生徒達に応援よろしくお願いします。

ご協力ありがとうございました

居酒屋 えびす亭
店主 高野 豊
TAKANO YUTAKA
会津若松市上町1-26
☎0242-23-1318



株式会社 荒井工務店
荒井 誠一
〒969-6107 福島県大沼郡会津美里町字新用地197番地
TEL(0242)56-2587 FAX(0242)56-3587
E-mail: qq3s6c69@proof.ocn.ne.jp



創業明治三十五年
伝統的産業工芸品指定 会津本郷焼窯元
株式会社 漆紋焼
〒969-6041
福島県大沼郡会津美里町字川原町1933
TEL (0242) 56-2221 (代)
FAX (0242) 56-2223
E-mail: yumita@ryuumon.co.jp
http://www.ryuumon.co.jp

有限会社 五十嵐総合事務所
土地家屋調査士・行政書士事務所
建築設計 黎明住宅相談室
宅建取引業 住地サービス
代表取締役 五十嵐 一夫 (昭43A)
【土地家屋調査士・宅地建物取引主任者】
【一級建築士・行政書士】
事務所 福島県河沼郡会津坂下町字沢ノ目1713番地5
(鉄砲町バス停)
TEL (0242) 83-0107

五十嵐石材
STONE IGARASHI
福島県知事許可(般-22)第27639号
日本石材産業協会認証お墓ディレクター
代表 五十嵐 幸夫
〒969-2663
福島県耶麻郡猪苗代町大字川桁字道上9-1
TEL/FAX (0242) 66-2608



一級建築士事務所
有限会社 北斗設計
代表取締役 佐藤 満
一級建築士
(本 社) 〒969-6267 福島県大沼郡会津美里町字西裏1764
TEL. 0242(54)7305 FAX. 0242(54)7308
E-mail: hokuto-m@agate.plala.or.jp
(若松支社) 〒965-0003 福島県会津若松市一貫町大字八幡字基料36-17
TEL・FAX. 0242(88)9119



宴会・会合・無尽
割烹 萬里
ユネスコ 和食 無形文化遺産
〒965-0871 会津若松市栄町4-37(清水通り)
●営業時間 17:00~22:00 ●定休日 日曜日 (不定休)
TEL (0242) 22-8502 FAX(0242) 27-5790

TOTAL SIGN & DESIGN
各種看板・屋内外サイン
有限会社 東海堂アート工藝
〒965-0830 会津若松市西年貢二丁目2-14
TEL:(0242)27-8610 FAX:(0242)26-7790



startialead
スターティアリード株式会社
会津支店
福島県会津若松市川原町1-9 〒965-0865
Tel 0242-26-0123 Fax 0242-26-0124

健康経営優良法人 2024
株式会社 山口設計
代表取締役会長 一級建築士
山口 一男
[猪苗代本店] 〒969-3121 福島県耶麻郡猪苗代町字津金沢54番地
TEL(0242)62-4310(代) FAX(0242)62-4381
[若松本社] 〒965-0013 福島県会津若松市堤町11番9号
TEL(0242)23-7781(代) FAX(0242)23-7791
[郡山事務所] 〒963-8861 福島県郡山市鶴見垣三丁目9番8号
TEL(024)954-4062(代) FAX(024)954-4064
http://www.yamaguchi.email.ne.jp
E-mail: archi@yamaguchi.email.ne.jp



私たちは『ひと』を大切にします。
株式会社 目黒工業商会
〒965-0816 福島県会津若松市南千石町1番54号
TEL (0242) 27-3344 (代)
FAX (0242) 28-6655
E-mail: kmeguro@if-n.ne.jp



AKIYAMA YUAVIS CONSTRUCTION CO.,LTD.
地球とコミュニケーション
秋山ユアビス建設
秋山ユアビス建設株式会社
■本 社/〒965-0875 福島県会津若松市米代一丁目4番30号
PHONE 0242-27-3770(代) FAX 0242-27-0428
■郡山営業所/〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字大久保40 GOSHINビル101号
PHONE・FAX 024-935-2465



人と街に新しい息吹。
Neo-Trad Creation
会津土建株式会社
代表取締役社長 菅家忠洋
〒965-0873 福島県会津若松市追手町5-36
Tel. 0242-26-4500 fax 0242-29-5911



より良い生活環境づくりのお手伝い。
水廻りのトラブル解消
住宅・住宅設備のリフォーム
給排水衛生・空調・機械設備工事等の
設計・施工・メンテナンス
ハッ橋設備株式会社
〒965-0008 会津若松市松町2番3号
[Tel.] 0242-27-3925
[fax] 0242-27-3681



SIGMA

豊かな環境づくりで社会に貢献する
空調設備・給排水衛生設備・ガス設備・水道施設・
機械器具設置 設計施工
株式会社 アクーズ会津
代表取締役 梶屋 和久
〒965-0817 福島県会津若松市千石町4番50号
TEL 0242-28-4111 FAX 0242-27-5441
http://www.acws.jp



滝谷建設工業株式会社
代表取締役社長 田中 智仁
■本 社/〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下177番地
TEL(0241)52-3131(代) FAX(0241)52-3143
URL https://www.takiya.co.jp
■会津若松店/〒965-0042 福島県会津若松市大町一丁目2番8号
TEL(0242)24-3511(代) FAX(0242)25-0940
■喜多方支店/〒966-0802 福島県喜多方市字桜が丘二丁目34番地3
TEL(0241)23-5900 FAX(0241)23-5901



株式会社 白井 設計
代表取締役 白井 武男
〒965-0872 福島県会津若松市東栄町2番8号
TEL 0242 (23) 8840
FAX 0242 (23) 8640
E-mail: hakubu@cocoa.ocn.ne.jp

自然との調和を大切に
総合建設業
永島建設株式会社
代表取締役 永島 隆治
〒969-6183 福島県会津若松市北会津町上米塚1235-2
Phone 0242-56-3230 FAX 0242-56-2662
E-mail: t-nagakk@atlas.plala.or.jp



株式会社 東北入谷まちづくり建設
代表取締役社長 小野 太成
■本 店 会津若松市門田町大字一ノ瀬字村西708番地9 TEL0242-27-1248
■坂下本社 河沼郡会津坂下町字沢ノ目1717番地 TEL0242-83-3311



地 区	役職名	氏 名	卒年
東 京	顧問	五十嵐 清 夫	S33K
	顧問	田場 善 雄	S27M
	顧問	藤 孝 子	S38M
	顧問	伊 金 子	S32A
	顧問	五十嵐 昭 健	S35A
	副 会 長	堀 野 中	S42E
	幹 事	長 戸 野 郎	S36E
	幹 事	中 島 武 彦	S40M
	副 幹 事	波 木 政 彦	S41G
	副 幹 事	中 波 木 雅 俊	S44M
	副 幹 事	長 事 川 義 則	S40M
	計 計	幹 事 見 輝	S43E
	会 計	監 邊 藤 夫	S34K
	会 計	監 猪 和 武	S37C
	常 任	幹 事 本 清	S41T
	常 任	幹 事 竹 八	S39K
	常 任	幹 事 松 賢 二	S46C
	常 任	幹 事 松 義 重	S43G
	常 任	幹 事 事 部 室	S43G
	常 任	幹 事 坂 本 忠	S44D
	常 任	幹 事 芝 栄 良	S40A
	常 任	幹 事 吉 吉	S46A
東 海	顧問	鈴木 力 夫	S31T
	顧問	平 山 充 雄	S31T
	顧問	沼 藤 定 素	S33K
	顧問	遠 藤 弘 雄	S35T
	顧問	星 芳 憲	S36E
	顧問	山 三 春	S36T
	副 会 長 (長 橋)	内 井 川 樹	S41A
	副 会 長	早 川 茂 樹	S41G
	幹 事	長 事 五十嵐 強	S45A
	幹 事	佐 安 勝 美	S48M
近 畿	会 計 監 査	渡 部 藤 琢	S56M
	顧問	問 渡 部 藤 雄	S58A
	副 会 長	長 眞 川 善 一	S31E
	副 常 務 理 事	堀 辰 也	S39E
	常 務 理 事	細 部 雅 貴	S37T
	常 務 監 査 長	安 達 達 一	H16M
若 松	顧問	若 狭 春 生	S35K
	顧問	藤 田 晴 史	H13E
	顧問	浅 田 誠 功	S38K
	副 会 計 幹 事	小 山 源 昭	S40E
	副 会 計 幹 事	白 井 武 昭	S43E
	副 会 計 幹 事	荒 井 達 夫	S43G
	副 会 計 幹 事	梨 子 本 雄	S38A
	幹 事	長 勢 光 傑	S45A
	常 任	幹 事 林 清	S43E
	常 任	幹 事 小 佐 義 之	S43M
	常 任	幹 事 渡 部 優 生	S41K
	常 任	幹 事 藍 澤 弘 幸	S51A
	常 任	幹 事 渡 部 義 之	S28A
	常 任	幹 事 佐 藤 幸 生	S42M
	常 任	幹 事 藍 澤 弘 幸	S55M
	常 任	幹 事 渡 部 幸 生	S58A
	常 任	幹 事 渡 部 登 貴	S52M
	常 任	幹 事 渡 部 千 子	H06D
郡 山	会 務 幹 事	長 佐 藤 亨	S38C
	幹 事	局 長 井 徹	S58D
	幹 事	幹 事 佐 藤 友 哉	S42D
	幹 事	幹 事 細 野 嘉 穂	S39E
福 島	副 会 長 (会 計)	二 星 敏 充	S39E
	幹 事	長 事 田 秀 明	S40E
	常 任	幹 事 神 小 信	S31M
	常 任	幹 事 柴 俊 男	S34C
坂 下	顧問	梨 子 本 傑	S41K
	顧問	五十嵐 一 正	S43A
	副 会 長	波 部 江 正 光	S47D
	副 会 長	中 島 部 和 男	S48A
	副 幹 事	渡 飯 甲 裕 哲	S52M
	副 幹 事	長 飯 甲 斐 光	S52T
	副 幹 事	長 飯 甲 斐 光	S49A

地 区	役職名	氏 名	卒年	
坂 下	副幹事	渡部 榮	S52D	
	幹事	渡部 林	S49A	
	幹事	渡部 雅	S52T	
	幹事	小五郎 博	S52M	
	幹事	荒井 克	S62M	
	幹事	荒井 上	H05E	
	幹事	荒井 孝	H05A	
	幹事	目黒 一	H11In	
	幹事	目黒 奈緒美	H17In	
	幹事	佐藤 秀	H06E	
	幹事	岡崎 直	H08D	
	事務局長	遠藤 幸	S59A	
	社会計	大田 利	H11In	
	監査	武田 知	H14A	
	監査	北藤 義	S45C	
	猪 苗 代	顧問	山 俊	S37A
副顧問		花 一	S37T	
副顧問		川 盛	S40E	
副顧問		五十嵐 一雄	S41E	
事務局次長		五十嵐 正	S48M	
幹事		金井 好	S47A	
代表幹事		涌井 潔	S50M	
代表幹事		長谷川 英	S52M	
代表幹事		古部 一	S48M	
代表幹事		渡部 泰	S42M	
代表幹事		小増 隆	S49A	
代表幹事		遠藤 憲	S49A	
監査		武田 亮	S49A	
監査		江 吉	S49G	
監査		山 花	S49G	
会 津 美 里		顧問	横山 嘉	S26M
	顧問	相馬 一	S33T	
	副顧問	長野 本	S50E	
	副顧問	松本 俊	S39K	
	副顧問	水野 空	S39K	
	幹事	佐々木 郎	S34E	
	幹事	白井 達	S43E	
	幹事	長嶺 清	S53A	
	社会計	星 通	H06C	
	監査	栗木 昭	S45D	
	監査	木村 俊	S48K	
	い わ き	顧問	大川 昌	S28E
		顧問	佐野 容	S32E
		副顧問	宮 行	S39A
		副顧問	沢藤 健	S34A
		副顧問	藤口 祐	S50G
幹事		木口 祐	S48A	
幹事		志津 廣	S37M	
幹事		正 雅	S46G	
監査		山 雅	S37L	
監査		金子 德	S36M	
建 友 会		相談	河野 政	S43A
		副顧問	武井 武	S45A
		副顧問	勢光 正	S51A
		副顧問	菅原 正	S51A
		事務局次長	菊地 和	S55A
		社会計	皆 彦	H05A
	社会計	鈴木 秀	S54A	
	社会計	馬場 一	H08A	
	社会計	洪山 川	S59A	
	社会計	渡 幸	H09A	
	会 工 電 友 会	顧問	明本 正	S30E
		顧問	本地 良	S36E
		顧問	野 三	S37E
		顧問	佐野 常	S31E
		顧問	鹿目 忠	S40E
		顧問	藤田 晴	S40E
顧問		成 達	S43E	
副顧問		近 良	S35E	
副顧問		城 隆	S36E	
副顧問		長谷川 信	S40E	
副顧問		渡部 幸	S43E	

- 西会津支部 平成26年7月解散
- 美修会 平成29年4月解散
- 日立会工会 令和5年3月解散

[illegible]

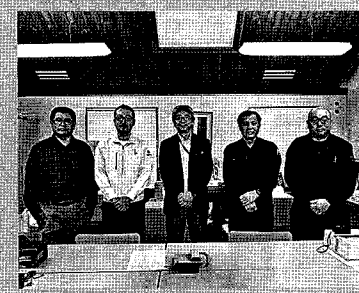
会工同窓会本部役員

役職名	氏 名	卒 年	備 考
顧問	若狭春生	S38K	本部選出
顧問	藤田晴史	S40E	本部選出・松江春次顕彰会会長
顧問	浅田 誠	S43E	本部選出
会 長	荒井誠一	S49A	本部選出・松江春次顕彰会監事
筆頭副会長	白井達夫	S43E	本部選出・会工電友会会長・参与
副 会 長	荒川富士雄	S43M	本部選出・機友会会長・参与・会報編集委員
副 会 長	田中健一	S42E	東京会工会会長・参与
幹 事 長	木村洋一	S50K	本部選出
副幹事長	菊地壽雄	S48D	本部選出・会報編集委員長
副幹事長	長尾好章	S50T	本部選出
副幹事長	田勢光夫	S51A	本部選出・若松会工会幹事長・会報編集委員
副幹事長	渡部 哲	S52M	本部選出
副幹事長	森田哲郎	S55M	本部選出
幹 事	安藤昭男	S35T	本部選出
幹 事	長谷川利彦	S41K	本部選出
幹 事	武田芳仁	S47M	本部選出
幹 事	菅原正晴	S51A	本部選出・建友会副会長
幹 事	岩渕浩之	S54L	本部選出
幹 事	渡部優生	S55M	本部選出
幹 事	佐藤 満	S56A	本部選出
幹 事	村澤 智	S62E	本部選出・会津若松市議会議員
幹 事	石川和弘	S63M	本部選出
幹 事	長谷川純一	H01M	本部選出・会津若松市議会議員
幹 事	渡部恵千子	H06D	本部選出
幹 事	内川 健一	H07F	本部選出
幹 事	相木隆志	H07F	本部選出
幹 事	笹内直幸	H09J	本部選出・会津若松市議会議員
幹 事	照井友和	H10F	本部選出
幹 事	戸野部武彦	S40M	東京会工会幹事長
幹 事	五十嵐 強	S48M	東海会工会幹事長
幹 事	本名雄一	H13E	近畿会工会事務局長
幹 事	佐藤 亨	S38C	郡山会工会幹事長(郡山会工会会長・参与)
幹 事	星 秀明	S40E	福島会工会幹事長
幹 事	飯塚 裕	S52T	坂下会工会幹事長
幹 事	長谷川与一	S40E	猪苗代会工会副会長
幹 事	佐藤健二	S50G	いわき会工会幹事長
幹 事	菊地登貴雄	S52M	機友会幹事長
幹 事	星 清智	S50K	セウ友会幹事長
幹 事	二瓶雅孝	H04J	日曹金属化学(株)会工会 連絡担当
幹 事	大塚裕一郎	H03C	昭和電工(株)会工会会長

役職名	氏 名	卒 年	備 考
幹 事	珊瑚優治	S59C	三菱製鋼(株)広田製作所会工会会長
幹 事	高橋 誠	S60E	三菱マテリアル(株)若松製作所鶴友会会長
監 事	小山源昭	S38A	前建友会会長・参与
監 事	近藤信行	S40E	本部選出
監 事	栗城和夫	S41M	前機友会会長・参与
参 与	高梨哲夫	S55M	前会津工業高等学校校長・磐梯町教育長
参 与	佐藤正道	S59C	会津工業高等学校校長
参 与	田中健一	S42E	副会長・東京会工会会長
参 与	三井正春	S41A	東海会工会会長
参 与	石川善一	S39E	近畿会工会会長
参 与	石田 功	S43C	若松会工会会長
参 与	佐藤 亨	S38C	郡山会工会会長
参 与	二瓶嘉人	S39E	福島会工会会長
参 与	渡部正司	S47D	坂下会工会会長
参 与	五十嵐一夫	S43A	前坂下会工会会長・会津坂下町議会議員
参 与	江花俊和	S37T	猪苗代会工会会長
参 与	野中寿勝	S50E	会津美里会工会会長
参 与	梅宮 昭	S39A	いわき会工会会長
参 与	白井武男	S45A	建友会会長
参 与	小山源昭	S38A	前建友会会長・監事
参 与	白井達夫	S43E	会工電友会会長・筆頭副会長
参 与	荒川富士雄	S43M	機友会会長・副会長
参 与	栗城和夫	S41M	前機友会会長・監事
参 与	梨子本 傑	S41K	セウ友会会長
参 与	曾根賢治	S36L	前会工美修会会長
参 与	坂内茂男	S32K	前監事
参 与	佐藤淳一	S55C	磐梯町町長
事務局 長	安部克彦	H16M	事務全般
事務局 次長	真田郁夫	S57E	事務全般・ホームページ担当
事 務 局	大濱達明	S55K	撮影記録・会報編集委員
事 務 局	鶴巢幸江	S58M	本部会計・会報編集委員・撮影記録
事 務 局	雪下良治	S63A	サラト関連
事 務 局	馬場正丈	H02M	会報編集委員
事 務 局	田中 哲	H04In	会報編集委員
事 務 局	永峯宏彦	H11M	寄贈マイクロバス管理運営
事 務 局	星 義一	H12A	鶴翔会館管理運営
事 務 局	渡辺 学	H13A	サラト関連
事 務 局	安斎光一	H18M	鶴翔会館管理運営・会報編集委員
事 務 局	小池恵生	H18M	本部会計・会報編集委員



**次回第118回総会は
2025年10月18日(土)に開催しますので、
是非ご参加ください！**



同窓会会報編集委員
菊地 壽雄 (S48D卒)
田勢 光男 (S51A卒)
馬場 正丈 (H02M卒)
鶴巢 幸江 (S58M卒)
大濱 達明 (S55K卒)
田中 哲 (H04In卒)
安斎 光一 (H18M卒)
小池 恵生 (H18M卒)

編集後記
会工同窓会報2024発行にて協力いただきました各同窓会、各支部の皆様、母校教職員・在校生の皆様、各種ご連絡を頂きました全国の会員の皆様、編集委員一同感謝と御礼を申し上げます。
また今回も広告掲載を頂きました関係各社の皆様にもより御礼申し上げます。ありがとうございました。
今年度も各地で災害・気候変動による厳しい状況が発生しました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。
この様な世相だからこそ人との繋がりが重要と感ぜられます。今後も同窓生のご活躍や活動の様子、様々な思いをご紹介してまいります。何卒よろしく同窓会への協力をお願い致します。